

# 2月のどきどき

## スタートが決め手だね

1月28日第6回安平町小中学生スケート交歓記録会が屋外スケートリンクで開催。22名が全力疾走でゴールを目指し、初心者でも参加できるよう趣向を凝らしたチャレンジ競技も行われ、氷上のゲームに悪戦苦闘する姿も見られました。  
（結果は生涯学習だより「きりり117号」(10ページ)に掲載しています。)



## 施設備品の購入に

2月1日追分花園在住の八木寧秀さんから、間もなく完成する追分中学校校舎に新しい備品を備えて生徒を迎えて欲しいと、町へ備品購入費用の寄付申し出がありました。  
町では寄せられた善意に感謝するとともに、生徒の学習環境整備に充てたいと考えています。



## ソフトテニスで全国大会へ

追分ソフトテニスクラブの野呂梨奈さん・中道結愛さんペア（ともに追分小）が、北海道小学生インドアソフトテニス大会5年生女子の部で第3位となり、3月30日から千葉県で行われる全国大会に出場します。



写真前列左から野呂さんと中道さん

今年度に入ってからお互いの気持ちがかみ合わず、一時はペアを解消することも考えていましたが、お互いの良さを再確認しながら、同じ目標に向かって努力を続け、二大会の一つで入賞・全国出場権を得ました。  
1月31日瀧町長を表敬訪問した際には、「全国大会でもしっかり勝ちたい」と力強く抱負を語ってくれました。

## 国体スケート大会・全国中学スケート大会で好成绩

2月3日第67回国民体育大会冬季大会スケート競技会（岐阜県）に北海道選手団として安平町から派遣された高校生の高山梨沙さん、高山菜摘さん、池田千奈美さん、中村奨太さん、近藤太郎さんと第32回全国中学校スケート競技会（長野県）に出場した高山瑞穂さん（早来中3年）が結果報告に役場を訪れました。

全道高校スケート大会の成績をもとに国体出場となった5名の高校生は、全日本ジュニアスケート大会と高校総体出場を経て現地入りというハードなスケジュールでも、それぞれの出場種目で上位入賞し、スピードスケート部門では北海道優勝に大きく貢献。少年女子3000メートルに出場した池田さんと高山（梨）さんは、「二人でワンツーフィニッシュできて良かった」と笑顔で感想を述べていました。  
一方、全国中学大会にただ一人出場した高山瑞穂さんは、1500メートル、3000メートル

に2位という不本意な結果に。「この悔しさをバネに進学先でもスケートに励みたい」と今後の意気込みを語ってくれました。

報告を受けた瀧町長は、高校総体での活躍も素晴らしかった。（冬期間は）新聞を見ているのも驚いている。大学生や社会人になっても国内外、五輪で活躍してくれることを楽しみにしています」とメッセージを贈りました。

（※国体に出場した高山（梨）さん・中村さん・近藤さんは、3月初旬、帯広市で開催される世界ジュニアスケート大会とジュニアワールドカップスケート大会に出場します。）



写真前列左から、中村（授）、瀧町長、豊島教育長、高山（梨）、後列左から、中村（卓）監督、近藤、池田、高山（菜）、高山（瑞）、奥本教頭、東教育次長（敬称略）